

岡崎市議会議長 様

支出番号

会派名

公明党

代表者名

畑尻 宣長



下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政務活動旅行報告書

令和 2年 1月 10日提出

活動年月日	令和1年 7月17日 (水)	
氏名	畑尻宣長	
用務先 及び 内容	1	用務先 東京都 杉並区
	7月 17日	内容 杉並区議会コミュニケーションツールについて
	2	用務先
	月 日	内容
	3	用務先
	月 日	内容
	4	用務先
	月 日	内容
備考		



政務活動調査報告書

調査日	令和元年7月17日（水）
視察場所	東京都 杉並区
調査項目	杉並区議会コミュニケーションツールについて
視察者名	畑尻宣長
市の概要	面積：34.06 km ² 人口：563,997人 人口密度：15,983.76人/km ² 世帯：303,738世帯 経常収支比率：81.9% 実質公債費比率：▲6.4%

<ICT 検討組織の変遷>

検討組織

- ・議会改革特別委員会 H27
- ・議会における ICT の活用検討会 H28
- ・タブレット端末導入等に関する検討会 H29
- ・ICT 活用推進検討委員会 H30～



<H28 議会における ICT の活用検討会>

- ① タブレット端末の選定
- ② 文書共有システムの導入検討
- ③ コミュニケーションツールの導入検討
 - 議会内での事務連絡や日程調整の効率化・迅速化を目的
 - コミュニケーションツールの機能の比較（約 10 種類）
 - ・グループウェア : 多機能 ➡ 複雑、管理が難しい
 - ・メッセージアプリ : メッセージの送信に特化 ➡ 使いやすい

◆ ツール導入の方針を決定

- 1、誰が読んだかわかる（既読確認）
- 2、日程調整が容易（アンケート機能）
- 3、使いやすい（多機能×）

※ここまで、決めてから、いよいよ実際にお試し運用に入ります。

■コミュニケーションツールの体験実施（検討会）

- ・業者を呼んで、検討会メンバーツールの体験を実施
 - 「direct」（株）エルイズビー
 - 「buzzle」（株）常盤商会
- ・操作性や既読確認・アンケートの機能等を確認
- ・コミュニケーションツールの必要性を再確認



■ツール導入によるコスト削減効果の算出

- ・連絡調整にかかるコスト削減効果（試算）：約62万円（年）

<内訳> 電話、FAX、メールをツールに代替して削減できる時間：99時間
日程調整をツールに代替して削減できる時間：40時間

■検討会報告書を議長に提出 ➡ 全議員に配布

- ・タブレット端末、文書共有システム、コミュニケーションツールの導入を提案

■検討会報告書に対する主な意見

- ・議員負担してまでタブレット端末を導入する必要がない（議会活動「公務」以外の使用も想定し、議員が通信費の一部を負担する想定）
- ・私物のタブレット端末でシステム・ツールを利用したい
- ・多額の費用が掛かり、経費削減効果が少ない。

<結果>

システム・ツール →→→→ ◎ 導入に前向き
タブレット端末 →→→→ × 反対意見あり



全会派一致せず
予算要求見送り

<H29 タブレット端末導入等に関する検討会>

■コミュニケーションツールの再検討

議員への事務連絡や日程調整の簡素化・効率化を図る目的

- ① 既読の確認ができる（既読件数だけでなく、議員名も表示）
- ② アンケート機能（日程調整に活用する）

上記の①②を満たすコミュニケーションツールを選定

検討に上がったのは、費用面が安価な「buzzle」と平成29年2月からサービスを開始した「LINE WORKS」でした。

■コミュニケーションツールの体験会（全議員対象）

- ・導入候補となったツールの体験会を実施
- ・体験会内容（無料）

議員の私物のスマートフォン等にアプリをインストール
定例会中の事務局から議員への連絡に利用

- ・体験会の結果：LINE WORKS を選定

■システムを先行導入することを決定

タブレット端末の導入は見送り、議員に貸与しているPCや私物のタブレット端末・スマートフォン等で利用できることから、システムを翌年度（平成30年度）から先行導

入することとした。

○文書共有システム 「SideBooks」の導入を決定

○コミュニケーションツール

議会事務局と議員との事務連絡等の効率化を図ることや災害時の議員の安否確認・緊急連絡手段としても活用が期待できること

体験会を実施した結果、「LINE WORKS」の導入を決定

<LINE WORKS について>

△平成28年6月 コミュニケーションツールの導入検討開始

△平成30年2月 (第1回定例会)に体験会を実施

△平成30年4月から運用開始(ライトプラン)

※体験会のアカウントを引き継ぎ、無料体験から有料プランに切り替え

■契約内容

・ライトプラン(年間契約 1人300円/月)

利用人数:議員48人、事務局19人、合計67人

契約金額:260,496円=67人×300円(月額)×12カ月×1.08(消費税)

■使用端末

事務局:業務用PC(ブラウザ)

議員:貸与PC(ブラウザ)

私物のスマートフォン、タブレット等(アプリ)

<所感>・・・畑尻宣長

グループウェア導入検討部会のメンバーと杉並区の取り組みを視察させて頂きました。いち早くコミュニケーションツールの導入を決めた経緯など参考にさせて頂きたいと思っております。すでに杉並区議会では、一人一台のPCが貸与されており、議場や委員会室への持ち込みが可能であります。本市と比較しても、進んでいると感じました。その為の取り決めもされており、その上で、コミュニケーションツールを導入したということの意味は大きいように感じました。それは、必要性を感じて導入を決定されているからであります。とはいえ、話を聞く中で、使用する側(議員側)のリテラシーに格差がありすぎる、ということもお聞きしました。これだけ先進的に導入し、議員の平均年齢も本市より若いのに格差が生じていることには驚きました。本市においても、理解度はまちまちですので、フォローは必要不可欠だと感じています。しかし、グループウェア導入による効果は大きいと考えます。同じ「LINE WORKS」を検討していますので、そういう点でも選んだ理由、使い勝手、セキュリティに関しても、他より良かった点が多いことが理由であります。しかし、利用する議員側の利用の仕方も、ある一定程度の理解がないと、思わぬ利用の仕方がされかねないことは、想定しないといけないと思いました。そういう意味でも、本市では勉強会など、使い方に関しては、最低限身につけて頂けるようになっていく必要性を感じました。来期からのFAXに替わる伝達手段としてのコミュニケーションツールとして、活かされるよう参考になりました。

以上